

2013年12月12日

世界初*のサスペンション構造によるガラスらせん階段「STEPS IN THE AIR」が竣工

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、当社製品の機能体感スペース「AGC studio」内に、世界初のサスペンション構造によるガラスのらせん階段を完成させました。らせん状に吊り下げられたガラスの段板があたかも宙に浮いているような、透明感溢れる軽やかな階段の誕生です。

ガラス階段は、これまで多くの施設で採用されていますが、その構造は階段側面のガラス板で支えるものが中心でした。

ガラス階段の透明感を一層高める方法として、側面のガラス板を省略し、ガラスの段板のみとすることが考えられます。しかし、ガラスの段板を固定することが困難であったため、その実現は見送られていました。

今般、意匠設計を太田浩史氏、構造設計を佐藤淳氏が担当し、綿密な構造計算と実物大モデルでの実験を実施し、吊り下げたガラス段板を独立して固定することに成功しました。光をよく通し、強い構造材であるというガラスの特長を最大限に活かした階段により、まるで空中を散歩しているような不思議な体験をすることができます。



また、曲面状の階段の手すりには、化学強化特殊ガラス「レオフレックス」を建材用途として初めて採用しています。薄くても強く割れにくいという特性を活かし、透明で軽量かつ安全な手すりを実現しました。非常に薄いガラスであるため、ガラスを予め曲げ加工せず、平らなガラス板を2枚合わせて曲げながら設置する方法をとっていることも特長の一つです。

AGCは、今後も新しいガラスの使い方を提案し、快適な生活・空間を実現していきます。

※2013年12月時点、当社調べ。

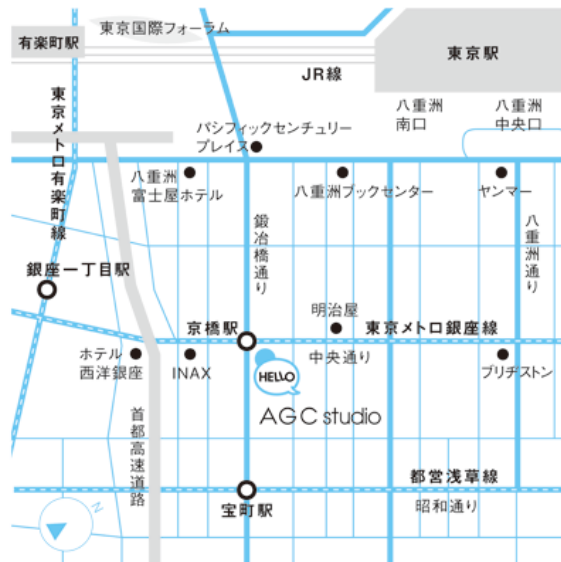
以上

- ◎本件に関するお問い合わせ先：**AGC** 旭硝子(株)広報・IR室長 上田 敏裕
 (担当：高橋 TEL：03-3218-5603、E-mail：info-pr@agc.com)
- ◎ガラス階段に関するお問い合わせ先：AGC studio
 (TEL：03-5524-5511)

<ご参考>

AGC studioの概要

住所	東京都中央区京橋2-5-18 京橋創生館 1・2階
電話番号	03-5524-5511
開館時間	10:00 ~18:00、10:00 ~19:00 (金曜日)
定休日	日曜日・月曜日・祝日・年末年始
ホームページ	http://www.asahiglassplaza.net/agcstudio/



太田 浩史氏



1968年東京都生まれ。東京大学大学院工学系修士課程修了。1993～1998年東京大学生産技術研究所助手。2000年(株)デザインヌーブ設立。東京大学国際都市再生研究センター特任研究員を経て、現在東京大学生産技術研究所講師。

佐藤 淳氏



1970年愛知県生まれ。東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。1995年～1999年木村俊彦構造設計事務所勤務。2000年佐藤淳構造設計事務所設立。現在、東京大学特任准教授。

以上